

# 政策広報

関東地方整備局

第195号

## 関東の窓

### ◆ 目次 ◆

#### ◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 第3回首都圏広域地方計画に関する有識者懇談会の開催について
2. 中部横断自動車道 山梨～静岡間 全線開通1年後の整備効果
3. 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）の実施について
4. 国営昭和記念公園でリモートワークの実証実験を行います  
～会議等に活用できるワークスペースを無償にて提供いたします～
5. CO2吸収コンクリートブロックの現場試行（3Stage）を開始します。  
～カーボンニュートラル・GXの取組～
6. 参加者募集！ 令和4年度 第2回「ICT施工Webセミナー」開催
7. 令和4年度 水質事故対策訓練の実施について
8. 仕事猫 × 関東地方整備局港湾空部 工事安全啓発ポスターのコラボについて
9. 建設現場の遠隔臨場に関するアンケート結果  
～インフラ分野のDXを推進し、建設現場の働き方改革、生産性向上を期待～

#### ◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 建築分野におけるBIM導入のメリットの検証等に取り組む提案を5件採択  
～「令和4年度BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（先導事業者型・中小事業者BIM試行型）」の採択提案の決定～
2. 令和4年度「サウンディング（官民対話）」に参加する民間事業者等を募集します！
3. 第19回都市計画基本問題小委員会の開催  
～都市構造の「軸」と「拠点」（コンパクト・プラス・ネットワーク）の高質化・多様化 について議論します。～
4. 令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！  
～国土交通省関係では、1個人及び12団体が受賞～
5. ほこみち インスパイア フォーラム 2022 を開催します ～道路空間が躍動する日～
6. G空間で創るデジタル社会 ～G空間 EXP02022 を12月に開催～
7. 第9回インフラツーリズム有識者懇談会を開催します  
～インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトの推進に向けて～
8. 災害時に人命を守る「命のみなとネットワーク」を形成します  
～“みなと”を活用した災害対応支援～



## 2. 中部横断自動車道 山梨～静岡間 全線開通1年後の整備効果

甲府河川国道事務所  
山梨県

### 中部横断自動車道(R3.8.29)開通後の整備効果

- ・ 東名・新東名や中央道が中部横断道で結ばれ、広域な地域間流動が増加
- ・ 中部横断道沿線企業の他県との取引企業数が増加するなど、地域産業が活性化

#### 1. 中部横断道の交通量の変化

- 全線開通直前と比較して、交通量が最大約3倍に増加

#### 2. 交通流動の変化

- 中部横断道が全線開通後、中部横断道を連続利用する車両が約1.7倍に増加
- 国道52号の事前通行規制区間を迂回可能になるとともに、東京圏と中京圏間の走行経路数が増加することで、災害時等の通行止め時のリダンダンシーを確保

#### 3. 地域産業の活性化

- 中部横断道沿線の製造業と他県との取引企業数が約1割増加し、売上高が約4割増加

#### 4. 清水港を活用した輸出の促進

- 清水港や卸売市場の物流施設の整備が進み、山梨・長野産農産物の輸出拡大が期待
- 中部横断道沿線に立地した物流センターにより、医療用機器の輸出拡大が期待

#### 5. 観光の活性化

- 全線開通により峡南地域への来訪者数が大幅に増加

#### 6. 救急医療支援の向上

- 中部横断道の開通により、重篤患者に対する救急医療や周産期医療を支援

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/koufu\\_00000575.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/koufu_00000575.html)

## 3. 道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)の実施について

関東地方整備局 道路部

○ 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験(社会実験)を、公募により平成11年度から実施しています。

○ 令和4年度においても実験を実施する地域を公募し、関東地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験の名称	タイプ
栃木県	栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメントについて	現地実証実験 タイプ(複数年度)
東京都	電気自動車用充電器の公道設置に関する実証実験	現地実証実験 タイプ(複数年度)

○ 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。  
<https://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

○ 令和4年度に提案のあった「道路に関する新たな取り組みに活用できる民間企業等が有するアイデア」については、以下のホームページをご覧ください。  
[https://www.mlit.go.jp/road/demopro/public\\_offering/kohyo/r04.html](https://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/kohyo/r04.html)

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road\\_00000364.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000364.html)

#### 4. 国営昭和記念公園でリモートワークの実証実験を行います ～会議等に活用できるワークスペースを無償にて提供いたします～

国営昭和記念公園事務所

コロナ禍以降、柔軟な働き方が広く普及してきているところですが、公園の魅力である緑の癒やし効果、開放的な空間を生かし、公園をリモートワークの場として活用するため、検討を行っております。

今般、秋と冬に、季節感などを肌で感じて頂きながら仕事を行う場として、公園内に会議等で利用できるワークスペースを提供し、効果の検証を行う実証実験を行います。

本実証実験の参加にあたっては、施設を無償でご利用いただけます。公園ならではの環境でリモートワークを体験してみませんか。

秋の部：2022年10月11日(火)～15日(土) 9:30～12:00・13:00～15:00  
 日本庭園歎楓亭

冬の部：2023年2月1日(水)～12日(日) 10:00～16:00  
 花みどり文化センター

リモートワークの実証実験の概要及び申込先

概要：[https://urbangreen.or.jp/info-others/shouwa\\_remote](https://urbangreen.or.jp/info-others/shouwa_remote) (委託先外部リンク)

申込先：[kanpuutei@urbangreen.or.jp](mailto:kanpuutei@urbangreen.or.jp) 実証実験担当あて

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/showa\\_00000091.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/showa_00000091.html)

## 5. CO2吸収コンクリートブロックの現場試行(3Stage)を開始します。 ～カーボンニュートラル・GXの取組～

荒川下流河川事務所

荒川下流河川事務所では、根固めブロックのCO2排出量の低減・吸収を期待し、大成建設(株)・日建工学(株)が提案する「カーボンリサイクル・コンクリートを用いた根固めブロック」の技術を用いた現場試行を行っています。

今回は現場試行(3Stage)としまして、

◇「アルギニン」(アミノ酸の一種)を混合したコンクリートパネルを水中に沈め、水中暴露試験を開始します。

### 1.現場試行(3Stage)の内容

日時 令和4年10月7日(金) 9時30分～

場所 東京都北区志茂5丁目地先(荒川右岸旧岩淵水門上流岩淵船着場付近)

内容 アルギニン混合のコンクリートパネルを水中に設置及び水中暴露試験開始

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/arage\\_00000327.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/arage_00000327.html)

## 6. 参加者募集! 令和4年度 第2回「ICT施工Webセミナー」開催

関東地方整備局 企画部

ICT施工の更なる普及促進を目的に、誰でも参加できる「ICT施工Webセミナー」を開催いたします。

ICTアドバイザーなどのICT施工各分野のエキスパートが過去に経験した事例や小規模土工への取組事例を紹介します。

第2回では特に前回セミナーのアンケート結果で要望が多かった、失敗事例や課題及びそれらの対応策、国・県におけるICT施工の取組等について講演していただきます。

また、前回セミナーを見逃した方へ「見逃し配信」も行います。

### 【募集概要】

○募集対象：どなたでも参加いただけます。

○募集期間：令和4年10月7日(金) 10時00分～10月21日(金) 12時00分まで

○費用：無料

○講師：関東地方整備局ICTアドバイザー他

○開催日程：令和4年10月24日(月)～28日(金)

(詳細は本文資料(PDF)別紙プログラム参照)

○開催方式：WEB配信(Microsoft Teams利用)

○その他：本セミナーは、CPD/CPDSの認定プログラムではありません。

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku\\_00000973.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000973.html)

## 7. 令和4年度 水質事故対策訓練の実施について

利根川ダム統合管理事務所

利根川ダム統合管理事務所では、令和4年10月13日(木)13時から長野原町・林地区のハツ場あがつま湖において、水質事故対策訓練を実施しました。

訓練内容

- ①油等の流出対策訓練（オイルフェンス及びオイルマットの設置等）
- ②水質分析訓練（パックテストによる簡易水質分析等）

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonedamu\\_00000141.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/tonedamu_00000141.html)

## 8. 仕事猫 × 関東地方整備局港湾空部 工事安全啓発ポスターのコラボについて

関東地方整備局 港湾空港部

関東地方整備局港湾空港部では、イラストレーターくまみね氏の「仕事猫」とコラボして工事安全啓発ポスターを作成しました。

「仕事猫」は、工事用ヘルメットを被った猫が「ヨシ!」と指差呼称をしている姿が特徴で、多様な業界とコラボしている人気キャラクターです。

ポスターの内容は、港湾空港関係事故防止重点対策である(1)はさまれ巻き込まれ防止、(2)重機との接触防止、(3)転落、落下対策、(4)潜水事故防止、(5)手順確認について「仕事猫」が啓発するもので、関東地方整備局港湾空港部、管内関係事務所のほか、工事を受託している事業者及び港湾管理者(自治体)に配布し、工事安全のさらなる啓発に努めます。作成したデザインは、関東地方整備局港湾空港部の公式ホームページやSNS等にも登場する予定です。

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/pa\\_00000395.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/pa_00000395.html)

## 9. 建設現場の遠隔臨場に関するアンケート結果

～インフラ分野のDXを推進し、建設現場の働き方改革、生産性向上を期待～

関東地方整備局 企画部

関東地方整備局では、受発注者の建設現場の働き方改革や生産性向上を目的に、令和4年5月に関東地方整備局における建設現場の遠隔臨場の実施方針を策定し、遠隔臨場の取組を本格的に進めています。

この度、遠隔臨場の取組実態や効果、課題を把握し、より良いものとしていくため、受

注者を対象としたアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめましたのでお知らせします。

<アンケート結果のポイント>

- 受注者の多くが待機時間の削減、新型コロナウイルス感染症対策に効果があることを実感  
⇒時間の効率化が37パーセント、コロナ感染予防等が38パーセント
- ほぼ全ての受注者が、今後も遠隔臨場の実施を希望
- 約9割の受注者が、作業時間の削減効果があったと回答
- 遠隔臨場にあたり現場において創意工夫した事例を収集
  - ・ 夜間立会における視認性向上のため、投光器を追加
  - ・ 映像による基準高確認のため、測定値を確認できる機器を使用 など
- トンネル内や山間部など一部通信不良箇所では、ポケット Wi-Fi の使用、光ケーブルの新規設置など通信環境の改善(32パーセント)を実施
  
- 今後の課題に関する意見
  - ・ 段階確認において映像での確認が困難な場合がある  
⇒映像機器や測定機器などの技術発展を民間側にも期待
  - ・ 現場臨場に比べ、カメラ担当などスタッフを増員する必要がある  
⇒今後、効率的に実施した事例を収集し、受発注者に対し情報発信を行う
  - ・ 一部不良の現場による通信環境改善の取組が見られた  
⇒今後も通信環境改善の取組を推進、通信環境の普及にも期待

※関東地方整備局における遠隔臨場の実施方針及び実施要領(案)は関東地方整備局ホームページに掲載しています。

URL : <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000212.html>

この記事や、この記事の添付資料を以下の関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

[https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku\\_00000974.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000974.html)

## ◆◆国土交通本省の動き◆◆

### 1. 建築分野における BIM 導入のメリットの検証等に取り組む提案を 5 件採択 ～「令和 4 年度 BIM を活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業 (先導事業者型・中小事業者 BIM 試行型)」の採択提案の決定～

国土交通省は、令和 4 年度 BIM を活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（先導事業者型・中小事業者 BIM 試行型）について、学識経験者等による評価を踏まえた審査の結果、5 件の採択提案を決定しました。

#### 1. 事業概要

建築 BIM 推進会議で策定された「建築分野における BIM の標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第 2 版）」（令和 4 年 3 月）に沿って、設計・施工等のプロセスを横断して BIM を活用する試行的な建築プロジェクトにおける、BIM 導入の効果検証・課題分析等の取組みについて、優れた提案を国が採択するもの。

#### 2. 応募件数及び採択件数（二次募集）

先導事業者型                   : 応募件数 4 件、採択件数 4 件  
中小事業者 BIM 試行型       : 応募件数 2 件、採択件数 1 件

※詳細は別紙及び BIM を活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業 HP  
( <https://r04.bim-jigyuu.jp/> ) 参照

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/house05\\_hh\\_000933.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000933.html)

### 2. 令和 4 年度「サウンディング(官民対話)」に参加する民間事業者等を募集します！

令和 4 年 11 月に開催する官民連携事業のサウンディング（官民対話）について、民間事業者等との対話を希望する案件を募集した結果、全国の地方公共団体等から 70 件の応募がありました。

令和 4 年 9 月 14 日（水）より、サウンディングに参加する民間事業者等（金融機関を含む）を募集します。対話に参加いただく民間事業者等のうち、希望する方に官民連携事業に関する実績や提案等をお話いただく「アピールタイム」を設けています。「アピールタイム」への参加を希望する民間事業者等も併せて募集します。官民連携事業に対する熱意を地方公共団体に直接伝える貴重な機会となりますので、奮ってお申し込みください。

また、サウンディングの傍聴を希望する地方公共団体を募集します。

#### 1. 開催概要

日時 : 令和 4 年 11 月

形式 : WEB 形式（Zoom）で全国を 4 ブロックに分けて開催

内容 : 「別紙」を参照

各ブロックのプログラム、案件の詳細等については、下記の国土交通省 HP をご覧ください。

【国土交通省 HP : [https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei\\_kanminrenkei\\_fr1\\_000094.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/sosei_kanminrenkei_fr1_000094.html)】

#### 2. 民間事業者等の募集（「アピールタイム」参加事業者含む）

・「別紙」に記載のサウンディング案件について、提案、助言等をいただける民間事業者等

(金融機関を含む)を募集します。下記の参加申込 URL より、フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。なお、お申込みは令和4年9月14日(水)10:00から開始となります。

- ・参加希望が集中した場合は、参加者を調整させていただく場合があります。定員に達し次第募集を終了させていただきます。
- ・「アピールタイム」への参加を希望される方も下記 URL よりお申込みください。  
【参加申込 URL】: <https://business.form-mailer.jp/lp/4601762a180130>

### 3. 傍聴を希望する地方公共団体の募集

- ・「サウンディング」の傍聴を希望する地方公共団体を募集します。下記の傍聴申込 URL より、フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。なお、お申込みは令和4年9月14日(水)10:00から開始となります。
- ・傍聴希望が集中した場合は、傍聴者を調整させていただく場合があります。定員に達し次第募集を終了させていただきます。
- ・傍聴定員に限りがあるため、傍聴申込は1部署1アカウントまででお願いします。
- ・傍聴不可とさせていただく案件もございますので、予めご了承ください。
- ・民間事業者、報道関係者等の傍聴は受け入れていません。  
【傍聴申込 URL】: <https://business.form-mailer.jp/lp/4601762a180130>

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21\\_hh\\_000193.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000193.html)

## 3. 第19回都市計画基本問題小委員会の開催

～都市構造の「軸」と「拠点」(コンパクト・プラス・ネットワーク)の高質化・多様化について議論します。～

9月20日(火)、第19回都市計画基本問題小委員会が開催されました。  
今回は、都市構造の「軸」と「拠点」(コンパクト・プラス・ネットワーク)の高質化・多様化について議論しました。

1. 日時: 令和4年9月20日(火) 17:00~19:00
2. 場所: 国土交通省6階都市局局議室(618会議室)  
(東京都千代田区霞が関2-1-3中央合同庁舎3号館)  
※WEB併用会議
3. 議事:  
・都市構造の「軸」と「拠点」(コンパクト・プラス・ネットワーク)の高質化・多様化について
4. 委員: 別紙のとおり
5. その他  
・配布資料及び議事録は、以下の国土交通省HPに掲載しています。  
また、過去の会議の配付資料等についても同HPに掲載しております。  
<掲載ページ>  
[https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s204\\_toshikeikakukihonmondai\\_past.html](https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s204_toshikeikakukihonmondai_past.html)

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07\\_hh\\_000202.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000202.html)

#### 4. 令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者が決定！ ～国土交通省関係では、1個人及び12団体が受賞～

令和4年防災功労者内閣総理大臣表彰※の受賞者（12個人、36団体）を内閣府において決定しました。このうち国土交通省関係は、豪雨災害に対する水防活動、土砂災害防止活動、緊急災害対策活動（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）に著しい功績があったとして、1個人及び12団体が表彰されることになりました。

なお、表彰式の日程等については、内閣府から別途発表があります。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として行われるものです。

##### 国土交通省関係の受賞者（1個人及び12団体）

###### （1）水防活動関係・・・9団体

[災害現場での防災活動]

（令和3年7月1日からの大雨）

- ・富士市水防団 <静岡県>
- ・出雲市消防団 <島根県>
- ・さつま町消防団 <鹿児島県>

（令和3年8月の大雨）

- ・諏訪市消防団 <長野県>
- ・下呂市消防団 <岐阜県>
- ・久留米市消防団 <福岡県>
- ・武雄市消防団 <佐賀県>
- ・嬉野市消防団 <佐賀県>
- ・大町町消防団 <佐賀県>

###### （2）土砂災害防止活動関係・・・1個人及び1団体

[防災体制の整備]

- ・国立大学法人静岡大学 名誉教授  
土屋 智<静岡県>

[災害現場での防災活動]

（令和3年来海沢地すべり災害）

- ・来海沢区<新潟県>

###### （3）緊急災害対策活動関係（TEC-FORCEによる被災自治体支援活動）・・・2団体

[災害現場での防災活動]

（令和3年7月1日からの大雨）

- ・国土交通省 緊急災害対策派遣隊
- ・国立研究開発法人土木研究所 緊急災害対策派遣隊

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04\\_hh\\_000194.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000194.html)

## 5. ほこみち インスパイア フォーラム 2022 を開催します ～道路空間が躍動する日～

道路空間をクリエイティブに活用し、人が主役の魅力ある空間へ進化させていくことを目指して、11月11日（金）に「ほこみち インスパイア フォーラム 2022」を開催します。

賑わいのある道路空間を構築するための道路の指定制度である、ほこみち（歩行者利便増進道路）制度を創設して2年が経ち、ほこみちを使って地域に新しい風を起こそうという動きが、全国各地で進んでいます。

今回開催するフォーラムでは、各地の様々なほこみちの取組などについて、行政や民間企業等の実践者から紹介をいただきながら、「ひと中心に向かう道路空間の変化」について話し合い、ほこみちの普及や道路空間の更なる賑わいの創出を目指します。

日 時	令和4年11月11日（金） 15:00～18:00 ※現地会場受付開始は14:30より
場 所	心齋橋 PARCO 14階 SPACE14（スペースイチヨン） 〒542-0085 大阪府大阪市中央区心齋橋筋1丁目8-3
定 員	現地：先着250名、WEB：先着300名
申込方法	下記ホームページよりお申込ください。 <a href="https://hokomichi1111osaka.peatix.com">https://hokomichi1111osaka.peatix.com</a>
主 催	ほこみちプロジェクト事務局 / 国土交通省道路局
共 催	大阪市
協 力	一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク、 NPO法人 御堂筋・長堀21世紀の会、 一般社団法人 ミナミ御堂筋の会

- ・本フォーラムの内容等の詳細については、<https://hokomichi1111osaka.peatix.com> にて随時、情報を更新してまいりますのでご確認ください。
- ・ほこみちの制度や取組状況、関連情報等については、<https://www.mlit.go.jp/road/hokomichi/> をご覧ください。

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。  
[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001591.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001591.html)

## 6. G空間で創るデジタル社会 ～G空間 EXPO2022 を12月に開催～

「G空間 EXPO2022」を、12月6日～7日、東京・浜松町で開催します【入場無料】。  
12月1日～25日は、動画コンテンツのオンライン配信も行います。最新のG空間情報技術を、この機会にぜひご覧ください。

「G空間 EXPO」は、G空間情報 ※ の活用推進や普及啓発を目的として2010年から開催しており、今回で12回目となります。

今年は「G空間で創るデジタル社会」をテーマに、産学官民により最新のG空間情報技術に関する展示・講演等を行います。

※G空間情報（地理空間情報）とは、地図・衛星測位等から得られる「いつ」・「どこ」等の時間・位置の情報です。

### ■ G空間 EXPO2022～G空間で創るデジタル社会～ 開催概要

【会場開催】 令和4年12月6日（火）・7日（水） 東京都立産業貿易センター浜松町館

【オンライン開催】 令和4年12月1日（木）～25日（日）

公式サイト <https://www.g-expo.jp/>

## ■主な内容（予定）

### 【会場】

- 基調講演 ※講演者は変更になることがあります。

中村 弘太郎 氏（デジタル庁デジタル社会共通機能グループ データ／ベース・レジストリ担当）

渡邊 英徳 氏（東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授）

古橋 大地 氏（青山学院大学 地球社会共生学部教授）

野波 健蔵 氏（千葉大学名誉教授、日本ドローンコンソーシアム会長、先端ロボティクス財団理事長）

- 展示

最先端のG空間情報の技術や製品・サービス・情報等を紹介する『地理空間情報フォーラム』

先進的なG空間技術を発表する『Geo アクティビティコンテスト』

### 【オンライン】

展示、コンテスト、講演・シンポジウム等の動画コンテンツを配信。

## ■同時開催

地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチ Biz アワード」発表・表彰

（内閣官房主催） <https://www.g-idea.go.jp/2022/>

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo17\\_hh\\_000001\\_00019.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo17_hh_000001_00019.html)

## 7. 第9回インフラツーリズム有識者懇談会を開催します

### ～インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトの推進に向けて～

国土交通省では、平成30年11月に設置した「インフラツーリズム有識者懇談会」において、インフラツーリズムの更なる拡大に向け議論を行っています。

第9回となる今回は、モデル地区の進捗状況と今後の進め方、「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の骨子案等について議論を行いました。

1. 日 時：令和4年9月21日（水）15：00～16：30
2. 開催形式：対面及びオンライン併用
3. 議 事：・インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト  
各モデル地区の進捗状況と今後の進め方  
・「インフラツーリズム拡大の手引き」改訂の骨子案 等
4. 委 員：別紙のとおり
5. その他：・資料及び議事録は、国土交通省ホームページに掲載されています。  
・これまでの懇談会資料等は、以下の国土交通省ホームページをご覧ください。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/sogoseisaku\\_region\\_tk\\_000068.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/sogoseisaku_region_tk_000068.html)

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03\\_hh\\_000282.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000282.html)

## 8. 災害時に人命を守る「命のみなとネットワーク」を形成します

### ～“みなと”を活用した災害対応支援～

災害時の陸路分断等を想定して、“みなと”の機能を最大限活用して海上輸送による救助・救援や物資輸送等の災害対応支援を行うため、各地域で、船舶を活用した防災訓練の実施など「命のみなとネットワーク」の形成に向けた取組を進めていきます。

近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等

の気象災害が多く発生しています。陸路が寸断して孤立した被災地において、海上輸送を活用した緊急物資や生活物資、救援部隊や被災者の輸送等の事例も増えつつあります。

こうした状況を踏まえ、“みなと”の機能を最大限活用した、災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、このネットワークの形成に向けた取組を各地域で進めていくこととしました。今後は、具体的な取組として、災害時に速やかに対応できるように、国土交通省と関係市町村等が合同で、物資又は人員輸送に係る訓練を行ってまいります。

また、この度、「命のみなとネットワーク」の理解を深めていただくため、“みなと”を活用し災害対応支援を行った過去事例をまとめた事例集を公表しますので、ご参照ください。

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/port07\\_hh\\_000182.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/port07_hh_000182.html)

## 9. 国土交通省のインフラ長寿命化に関する取組状況を取りまとめました ～インフラ長寿命化計画（行動計画）のフォローアップ結果（令和3年度末時点）

国土交通省では、令和3年6月に「第2次国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）」（計画期間：令和3年度～令和7年度）を策定し、管理・所管するインフラの戦略的な維持管理・更新に向けた取組を推進しています。  
この度、令和3年度末時点の取組状況を取りまとめましたので、お知らせいたします。

### 【ポイント】

#### I. インフラ長寿命化の取組状況

##### 1. 個別施設計画の策定状況

政府の方針に基づき策定することとしている個別施設計画※1は、昨年度まで策定未了の施設があったダムにおいて策定完了するなど、18施設において計画の策定が完了しています。

一方、11施設※2では未策定の施設が残っており、早期の策定完了に向けた取組を引き続き促進していきます。

※1 インフラ長寿命化行動計画に基づき、点検・診断等の結果を踏まえ、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画。個別施設計画を核として、点検・診断、修繕・更新、情報の記録・活用といったメンテナンスサイクルを構築する。

※2 道路（橋梁、トンネル、大型の構造物）、河川（主要な河川構造物）、海岸（堤防・護岸・胸壁等）、港湾（係留施設、外郭施設、臨港交通施設、その他施設）、公園（国営公園を除く都市公園）、住宅（公営住宅）。

##### 2. 点検・修繕の実施状況

各分野にて定めた定期点検サイクルに基づき、施設点検を順調に実施しています。また、点検結果に応じて修繕等を実施していく必要がありますが、特に都道府県・市区町村等による修繕等の実施について未着手の施設が多く残っており、これらの施設に対して早急な措置を行う必要があります。

#### II. 各分野の数値指標の進捗状況

第2次行動計画において、施設毎の具体的な取組についての令和7年度末時点※3での数値目標を設定しており、今年度よりフォローアップを実施しております。すでに「河川分野新技術等を活用した補助事業等の割合」や、「空港分野の予防保全を適切に実施した割合」など一部の指標について目標を達成しており、その他の数値指標についても、引き続きフォローアップを実施していきます。

※3 一部指標を除く

国土交通省では、国が管理する施設のインフラ老朽化対策に取り組むとともに、地方公共団体等がインフラ老朽化対策を適切に実施していくため、引き続き支援に取り組めます。

○詳細は、以下のホームページに掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03\\_01\\_03.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/03activity/03_01_03.html)

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21\\_hh\\_000194.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000194.html)

## 10. 令和4年度「都市緑化月間」が始まります ～ひろげよう 育てよう みどりの都市～

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」をテーマに、国土交通省、都道府県、市町村では、地域住民の緑化意識の高揚を図るため、毎年10月を「都市緑化月間」と定め、都市の緑化及び都市公園等の整備の推進に関する様々な活動を実施しています。

なお、本月間の行事等へご参加いただく際には、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。

### 1. 期間

令和4年10月1日（土）から10月31日（月）までの1か月間

### 2. 主要行事

#### [1]都市緑化キャンペーン2022（別紙1）

日時：10月24日（月）11時30分から14時30分

場所：日比谷公園噴水前広場（東京都千代田区）

主催：都市緑化推進運動協力会

内容：花鉢の配布等

#### [2]令和4年度『ひろげよう 育てよう みどりの都市』全国大会（別紙2）

日時：10月28日（金）9時30分から17時00分

場所：日本教育会館（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

主催：一般社団法人 日本公園緑地協会

内容：令和4年度都市緑化功労者国土交通大臣表彰等

※今後の新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により、内容等が変更される場合があります。

### 3. 国営公園の無料入園日等（別紙3）

国営公園において、無料入園日の設定や催事等を行います。

※3密の回避やマスクの着用等の対策を実施しています。

### 4. 地方公共団体・関係諸団体主催の行事

全国各地において、都市緑化の普及・啓発のための行事等が実施される予定です。

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10\\_hh\\_000429.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi10_hh_000429.html)

## 11. 国土の将来について、一緒に考えてみませんか？

「国土を若者が考える！グランド・デザイン・ダイアログ 2022」参加者を募集します！

これからの時代を担う若い世代の皆さん、2050年、日本がどのようなになっているかイメージしたことはありますか？コロナ禍やデジタル化を経験している同世代の人々が、将来の暮らし方や働き方、地域のあり方についてどのような不安を抱き、どのような未来を期待しているか一緒に対話し、国土づくりのビジョンを考えてみませんか。

### イベントの内容

- 国土交通省では総合的かつ長期的な国土のあり方を示す新たな国土形成計画について検討を行っています。
- 新たな国土形成計画の検討のため、これからの時代を担う若い世代が参加し、国土づくりのビジョンについて、対話を通じて一緒に考えるイベント「グランド・デザイン・ダイアログ 2022」を開催します。
- 対話のテーマは「地方での豊かな生活を実現するには」、「カーボンニュートラルの実現を図る国土づくり」の2つです。

募集内容 ※詳細は添付資料をご覧ください。

- 開催日時；令和4年11月17日（木） 18:00～20:00（オンライン開催）※非公開  
令和4年11月23日（水・祝）14:00～16:00（東京駅周辺会場でリアル開催）  
〈様々な地域から参加いただくためオンラインでも開催。どちらか一方に参加可能〉
- 対象年齢；18歳以上26歳以下（令和4年4月2日時点）
- 募集期間；令和4年10月3日（月）～10月24日（月）正午まで
- 参加費；無料（会場までの交通費、事前説明会やオンライン開催にかかる通信機器・通信費用等は参加者のご負担となります。）
- 定員；両日とも約50名、合計約100名。  
応募多数の場合は各日の定員、希望する対話テーマ、事前コメント等を元に事務局で選考し、11月4日（金）までにメールでご連絡いたします。
- イベント開催前に30分程度の事前説明会をオンラインで開催いたします。
- 11月23日（水）の会場の住所等は11月4日（金）までに参加者にメールでご連絡いたします。
- 新型コロナウイルス感染症の状況等により、開催内容を変更または中止する場合があります。

### 応募の方法

- 以下のURL 応募フォームに記入してください。  
＜URL； <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1659660520f0VJwxPN> ＞

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku03\\_hh\\_000237.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku03_hh_000237.html)

## 12. 建設産業に関する作文（国土交通大臣賞）を表彰します！

～『私たちの主張～未来を創造する建設産業～』・『高校生の作文コンクール』の受賞者決定～

建設産業に関する作文（国土交通大臣賞）を表彰します！  
～『私たちの主張～未来を創造する建設産業～』・『高校生の作文コンクール』の受賞者決定～

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：（一財）建設業振興基金）では、建設産業への熱い想いを伝えていただくとともに、一般の人たちへ建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めていただくために、建設業の仕事に従事している方を対象に『私たちの主張～未来を創造する建設産業～』として作文を募集し、優秀作品を表彰しています。また、建設産業の仕事をもっと身近なものに感じていただくために、高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒を対象に、『高校生の作文コンクール』として募集し、優秀作品を表彰しています。

この度、特に優秀と認められる2作品について、「国土交通大臣賞」として、以下のとおり表彰式を行いますので、お知らせします。

○『私たちの主張～未来を創造する建設産業～』の概要

対象者：建設業の仕事に従事している方

応募総数：348作品

受賞作品数：国土交通大臣賞1作品、不動産・建設経済局長賞2作品、優秀賞4作品

○『高校生の作文コンクール』の概要

対象者：高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒

応募総数：857作品

受賞作品数：国土交通大臣賞1作品、不動産・建設経済局長賞4作品、優秀賞14作品

※各コンクールの優秀作品の詳細は別紙をご覧ください。

※優秀作品の内容は、(一財)建設業振興基金のホームページで公表しています。

( <https://www.kensetsu-kikin.or.jp/humanresources/sakubun/result.html> )

1. 『私たちの主張 ～未来を創造する建設産業～』の受賞者等について

[1]国土交通大臣賞の受賞者

・丹羽 恵美子 「ヒーローを探して」 コダミンフラサービス 株式会社 (東京)

[2]不動産・建設経済局長賞の受賞者

・金澤 優花 「私自身は“施工途中、”」 佐藤工業 株式会社 (福島)

・南雲 文音 「女性施工管理者として働く」 株式会社 巴山組 (新潟)

[3]優秀賞の受賞者

・佐藤 夏輝 「わたしと建設業」 株式会社 橋本店 (宮城)

・猪俣 夏来 「現場にある『生』」 株式会社 巴山組 (新潟)

・中林 八恵子 「チームで実感!わたしの成長」 加賀建設 株式会社 (石川)

・石橋 美希 「建築は幸せの中にある」 但南建設 株式会社 (兵庫)

2. 『高校生の作文コンクール』の受賞者等について

[1]国土交通大臣賞の受賞者

・安間 菜月 「幸せを創る職業」 静岡県立浜松工業高等学校 (1年)

[2]不動産・建設経済局長賞の受賞者

・渡辺 優斗 「二人の祖父の影響」 福島県立二本松工業高等学校 (3年)

・廣瀬 一貴 「未来を作る仕事」 山梨県立甲府工業高等学校 (3年)

・秋山 莉里花 「建築界の未来」 長崎県立長崎工業高等学校 (3年)

・古財 凜香 「青春の橋」 熊本県立玉名工業高等学校 (3年)

[3]優秀賞の受賞者

・木村 美友 「繋がれる建築」 宮城県古川工業高等学校 (3年)

・雨宮 蒼空 「建設業から社会を変える」 栃木県立栃木農業高等学校 (2年)

・島田 峻介 「憧れの職業と未来への継承」 栃木県立栃木農業高等学校 (2年)

・吉田 光翼 「我々の生活と建設産業の関係」 千葉県立京葉工業高等学校 (3年)

・上岡 優牙 「未来の建設産業」 東京都立葛西工業高等学校 (2年)

・望田 奈歩 「未来のために」 山梨県立甲府工業高等学校 (2年)

・野澤 春輝 「自然と人と建築」 山梨県立甲府工業高等学校 (3年)

・花村 あずき 「私を構成する」 静岡県立浜松工業高等学校 (3年)

・横山 芽依 「私たちが受け継ぐ」 岡山県立岡山工業高等学校 (1年)

・美濃 優花 「働きやすい環境へ」 愛媛県立東予高等学校 (2年)

・永井 詩音 「将来の夢と工業との出会い」 愛媛県立東予高等学校 (3年)

・岩崎 愛華 「人と地球が共に進む建設産業」 熊本県立球磨工業高等学校 (2年)

・佐潟 八重 「命を守る仕事」 鹿児島県立鶴翔高等学校 (2年)

・宮原 史凧 「夢はオペレーター」 鹿児島県立鶴翔高等学校 (2年)

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi\\_fudousan\\_kensetsugyo14\\_hh\\_000001\\_00108.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00108.html)

### 13. 第34回「住生活月間」における功労者表彰を行います

土交通省では、住生活月間（※）の行事の一環として、住意識の向上、ゆとりある住生活の実現及び建築物の質の向上を図るため、各分野において活躍された個人・団体に対し、功労者表彰を行っております。

今般、国土交通大臣表彰及び住宅局長表彰の受賞者を決定し、第34回住生活月間中央イベントの合同記念式典において表彰式を行いましたので、お知らせいたします。

表彰式は、10月15日（土）11時00分から「京王プラザホテル札幌（札幌市）」

※ 毎年10月を「住生活月間」と定め、国民の住意識の向上を図り、豊かな住生活を実現するため、総合的な啓発活動を展開しております。

表彰式：10月15日（土）「京王プラザホテル札幌（札幌市）」

住生活月間功労者表彰：＜国土交通大臣表彰＞ 25件

＜住宅局長表彰＞ 6件

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/house01\\_hh\\_000112.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/house01_hh_000112.html)

### 14. 前橋市（群馬県）の中心市街地における 寄付金を活用した民間まちづくり事業を支援します！

～全国第1号！共助推進型まちづくりファンドの設立を決定～

今般、（一財）民間都市開発推進機構（民都機構）は、前橋市と共同で資金を拠出し、共助推進型まちづくりファンド「前橋市アーバンデザインファンド」を設立することを決定いたしました。

同ファンドを通じて、前橋市の中心市街地における、まちなかの居心地の良さの向上に資する民間まちづくり事業等を資金面で支援することにより、地域の賑わい創出に貢献します。

<概要>

○国土交通省は、活動や取組自体への共感を持つ人々の寄付（ふるさと納税）等の「志ある資金」による資金拠出を受けながら、一定エリア内で自立的に行われる民間まちづくり事業に対し、民都機構のまちづくりファンドの仕組みを通じて助成を行う「共助推進型まちづくりファンド支援事業」を今年度より実施しています。

○「前橋市アーバンデザインファンド」は、市内に拠点を置く企業家有志からの寄付金を活用しながら、都市利便増進協定等に基づき民間事業者が主体となって実施する馬場川通りの遊歩道公園の親水化や車道の高質化等の事業に対して助成を行い、地域の賑わい創出に貢献します。

この記事や、この記事の添付資料を以下の国土交通省ホームページでご覧いただけます。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05\\_hh\\_000389.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi05_hh_000389.html)